

令和二年十一月十五日 聖日記念祭

神 示

社会が大きく変わらんとしている^{今日}

何が世界で起きているのか教えよう

この世の仕組み 「人生」を支えているものは「運命」

なれど 神の存在を忘れ

知識と努力で社会の流れを変えられると思う

おごりが^{運命実体}心を下げている

今 神は

社会の乱れ 悩み 苦しみ 迷いを 「正道」へと戻すため

時代の流れを変えている

人類の英知 知識と経験と努力では超えられない変化が

まだまだ起きる

そして 社会は あるべき姿に戻ってゆく

信者に申す

「教え」を家族で学び

「真理」に生きる家庭を築く^{努力}心を欠いてはいけない

和のある家庭に^{人間}人の心は^{運命}磨かれ 社会の^{変化}流れに乗って生きてゆける

「真理」に悟りを得て 初めて人間は 社会の変化を読み取れる

心の乱れは治まり 「道」欠く心の動きは起こらない

運命に導かれた人生を歩む^{人間}人が 社会を「正道」へと導く

信者は 「教え」を^{人生}心の支えに生活するところに

六つの花びら咲き誇る「人生」を歩んでゆける

我が「人生」を開運へと導き守る「力」を枯らさぬように

「道」を守る信者であれ